

第 29 回東日本高校選抜アイスホッケー大会日光大会競技要項

1. 競技方法 参加 8 チームを、A ブロック、B ブロックの各 4 チームに分けてリーグ戦を行い、その結果により、順位決定戦を行う。
リーグ戦の順位決定方法は次のとおりとする。
勝点の多い順とする。(勝ち=3 点 引き分け=1 点 負け=0 点)
同勝点の場合の優先順位は次のとおりとする。
- ①当該チーム間の対戦で得た勝点上位
 - ②当該チーム間の得失点差の上位
 - ③当該チーム間の得点の上位
 - ④当該チーム間の失点の上位 (少ないチーム)
 - ⑤全試合の得失点差の上位
 - ⑥全試合のペナルティ時間合計の上位 (少ないチーム)
- 順位決定戦は次のとおりとする。
- | | |
|----------|--------------|
| 決勝戦 | 各ブロック 1 位チーム |
| 3・4 位決定戦 | 各ブロック 2 位チーム |
| 5・6 位決定戦 | 各ブロック 3 位チーム |
| 7・8 位決定戦 | 各ブロック 4 位チーム |
2. 競技日程 別紙競技日程のとおり
3. 競技時間 リーグ戦は各ピリオド正味 15 分、インターバル 10 分 (練習時間 7 分)。10 点差以上ついた場合は、それ以降をランニングタイムとする。その後得点差が縮まってもランニングタイムは継続する。
順位決定戦は各ピリオド正味 20 分、インターバル 10 分 (練習時間 7 分)。
4. 延長規定 第 3 ピリオド終了時点で同点の場合、次のとおりとする。
- (1) リーグ戦
延長ピリオド、及び I I H F 競技規則に基づくペナルティショットシュートアウト (PSS) は行わない。
 - (2) 決勝戦及び 3・4 位決定戦
3 分間の休憩の後、3 on 3 によるサドンデス方式により、5 分

間の延長ピリオドを行う。それでも決しない場合、PSS（整氷なし片側使用）を行う。

(3) 5～8位決定戦

延長ピリオドは行わず、直ちに、PSS（上記同様）を行う。

5. 選手役員 チームのベンチ入り選手は22名以内（最低6名 G含む）、役員は6名以内（最低1名）とする。

6. 進 行 別紙タイムテーブルのとおり

1日目と2日目は状況により遅れることはあるが、原則として早めることはない。3日目は状況に応じて早めることもある。

各日とも、第1試合は、試合開始10分前から練習→試合開始

第2試合以降は、整氷→試合開始予定時間の10分前練習→試合開始（試合中は、各インターバル整氷）。

7. その他 (1) 各チームは、参加選手を主管団体事務局に提出すること。

(2) ラインナップ表は、所定の様式を用い、練習開始20分前までに提出すること（様式は各チームに電子メールで送付する）。

(3) 控え室は競技日程記載のとおり。

(4) 各試合の当番チームの担当業務は次の通りとする。

タイムキーパー2名 ゴールジャッジ2名 アナウンサー1名
ペナルティアテンダント2名 スコアラー1名 シュート記録
2名

練習中のパック管理・ゴールポストの移動

(5) 駐車場は、スピードリンク下の駐車場を使用すること。

日光警察署からの指導もあり、施設隣接スペース、ロータリー内、路上、歩道には絶対に駐車しないこと。

（これまでも、ロータリーや路上駐車のために、路線バスや救急車両の通行に支障が出ている）